

平成 22 年度第 3 回（第 1 9 2 回）備中地区司書部会議事録

日時：平成 22 年 9 月 22 日（水）10:00～16:00

場所：岡山県立図書

司会：大西司書（倉敷商業）

記録：大西司書（倉敷商業） 山下司書（鴨方）

21 名参加

1. 開会

2. 諸連絡

- ・理事会より
 - ・来年度の岡山県学校司書研修会（岡山大会）について 玉野地区の実践報告と今井書店の講演（選書やレイアウトの工夫）の予定。
 - ・今後、学校司書研究協議会は 1 日、研修会は半日で開催する予定。ローテーションは平成 24 年倉敷で研究協議会となっている。

- ・ネットワーク研究会より
 - ・次回は 11 月 5 日開催。

- ・支援用図書選定委員より
 - 午後からの選定について

- ・第 4 回合同研修について
 - ・12 月 10 日県立図書館にて開催。午前は各支部の研修、午後は「岡山の星めぐり」の講演と支援用図書のセットを組む予定。

- ・その他
 - ・おすすめ本担当者より、データ送信の方法を変更したいとの話があった。これに関し、司書部会の研修で、その方法も含めた研修をしてほしいとの意見が出た。

 - ・鴨方高校より第 2 回司書部会で行った図書館整備研修についてのお礼。その後、整備は順調に進んでいるようだった。

3. おすすめ本

- ・「文化祭・体育祭のお役立ち本」「目で見て楽しむ!ビジュアル本」「フリーテーマ」
- ・次回のテーマ「恋愛」「理系の本」「フリーテーマ」

4. グループ研修

- ・授業との連携（サークル活動室）
 - ・各校の事例「生活産業」「源氏物語」「280 Books」（国語）「考える高校生 脳死問題」（英語）

「保健レポート」「朝読新聞」「開校記念行事」「校内ハローワーク」「国際理解講演会」「芸術鑑賞関連展示」「保健だより」「ディベート」「キャリア課題」などの報告をした後、感想、今後の課題について話し合った。「図書館を使う体験をさせたい。」「資料提供のみでなくその先に進みたい。」「司書はどこまで授業に関われるのか?」「出過ぎていると思われぬよう教員のサポートをするにはどうしたらよいか。」などが出た。

- ・今後の予定 10月8日までに割り当てられた教科について事例の展開を時系列でまとめて、発表者田川司書に送る。司書の動き、教員とのコミュニケーションをくわしく記入する。11月5日のネット研の日に集まって、発表の骨子を検討する。

・日常業務（グループ研究室）

- ・日常業務の中での悩みを各校ざっくばらんに声にし合い、以下の内容についてお互い情報交換をし、経験談の中よりそれぞれが解決のヒントを持ち帰りました。

- ・選書について、一部の生徒のリクエストにどこまで応えていって良いものか、収書のバランスを考慮する事も大切だが、それぞれの校風に合わせた個性もあって良いのではないか、との意見もあった。

- ・生徒との関わり方について、図書室利用の他に、図書委員や清掃分担区域の生徒達との日々のやりとりに悩む事も少なくない。
そのような時には一人で抱え込まず 担任や図書課の先生方に相談することが大切。
図書委員には、すべき仕事を用意して、やり遂げた時の達成感を味わわせたり、
清掃に取り組まない生徒には、たまには掃除をせず、その時間じっくり向き合って指導をしたりする事が必要との経験者からのアドバイスもあった。

- ・その他、目をひく資料の展示の方法や、選書ツール、また資料購入までの流れなどについて、情報交換をおこなった。

5. 支援用図書選定

選定方法の説明の後、3グループ（A/医療 B/社会科学系 C/サイエンス）に分かれて県立図書館内の書架をめぐり選定した。教諭1名の参加があった。

県立図書館からのアンケート依頼あり、後日MLで受け取り、県立図書館に返送のこと。